

乳がん検診率向上に

埼玉新聞社「ほほえみ基金」に40万円

乳がん検診の大切さを伝えるピンクリボン運動を応援しようと、埼玉新聞社は5日、さいたま市北区の同社で日本対がん協会(東京都中央区)の「ほほえみ基金」に39万4682円を寄付し、同協会から感謝状が贈られた。基金への寄付は、今回で4回目。寄付の累計は175万6871円となった。

寄付金は、10月のピンクリボン月間に合わせて埼玉新聞で掲載された協賛企業の広告や特集の売り上げの一部から捻出。今後、基金を通じて乳がん検診の無料クーポンの配布や乳がん患者の支援などに活用される。

日本対がん協会の岡本宏之事務局長は「がんで苦しむ人

や悲しむ人を一人でも減らすための活動に活用させていただきたい」、埼玉新聞社の関根正昌社長は「今後も紙面を通じて検診受診を呼び掛けるお手伝いができれば」と話した。(勇有花子)

協賛企業・団体は次の通り(順不同)。

- 戸田中央医科グループ▽大宮シティクリニック▽川越予防医療センター・クリニック▽こくさいじクリニック▽丸山記念総合病院▽南越谷健身会クリニック▽AGS▽眞美会▽KDDI▽埼玉りそな銀行▽県看護協会▽三愛病院▽パレスホテル大宮▽県経営者協会▽県中小企業団体中央会▽県商工会連合会▽県商工会議所連合会▽埼玉経済同友会

日本対がん協会の岡本宏之事務局長(左)から感謝状を贈られた埼玉新聞社の関根正昌社長(右)さいたま市北区の埼玉新聞社



- ▽サイオー▽ショップパー▽羽生総合病院▽県歯科医師会▽熊谷総合病院▽クラーク記念国際高校さいたまキャンパス▽花園フォレスト・上里カンターレ▽たけうちクリニック▽中小企業労働福祉協会▽アズ熊谷▽国際学院▽全国健康保険協会埼玉支部▽ばど▽城西大学